

＼ 江里山を語ろう ／

だんだんだより



“だんだん”になった田んぼが広がる
みなさんのふるさと“江里山”について
少しお話しませんか

これまでの江里山について
これからの江里山について
“団らん”しながら色々教えてください

そのきっかけづくりとして
みなさんとのコミュニケーション誌
「だんだんだより」を発行しました

みなさんと一つ（団）になって
江里山のことを考えていきたいので
よろしくお願いします

＼ 江里山を語ろう ／

だんだんだより



“だんだん”が広がる江里山

Instagram

Instagramで情報発信中

【ユーザーネーム eriyama_tanada】

“江里山”について、より多くの方に
知っていただきたいという思いから、
Instagramを活用して情報を発信
しています。Instagramのアカウ



ントをお持ちであれば、どなたでもご覧
いただけます。

◀こちらを読み取っていただくとアクセスできます

2022.2

発行
棚田げんきスタッフ
(小城市地域おこし協力隊)



げんきの種まき

(棚田げんきスタッフ活動報告)

2021.12

みかんの選果作業中にお邪魔しました。“機械の穴”にみかんが入っていくのですが、見事にサイズ別に分けられていて、その様子が興味深かったです。



2021.12

じゃがいもの収穫作業を見学中に、みなさんとお話をしていて「親イモ？」「イモからイモができる!？」など、農業未経験の私には、新たな発見がありました。



2021.12

江里山公民館でしめ縄作りをしました。しめ縄作りは初体験で、見よう見まねで作ったところ、1回目は失敗。再度作り方を確認して挑戦し、何とか形になりました。慣れてきて作業が楽しくなっていたのですが、しめ縄作りは1年に1回。1年後には作り方を忘れてしまいそうなので、時々、自主練が必要ですね。



記念すべき1本目は“ねじっただけの縄”になってしまいました

2022.1.10

たなだ部のみなさんと一緒に、そば打ち体験&試食を行いました。そば生地を細く切るのは意外と難しいですね。



▲太麺が田中作です(注:うどん麺ではありません)

2022.1.12

小城市地域おこし協力隊(空き家・移住・定住担当)の瀬尾さんと、えびすFM「のうぎょ〜チャンネル」に出演しました。協力隊の活動内容や空き家のこと、小城市の協力隊が繋がって何か出来ないかなど、色々な話をさせていただきました。
◀左から、瀬尾さん、阿南さん(パーソナリティ)、田中



江里山の空に想う

江里山のこれからを考えるヒントになる(かもしれない)情報やアイデアをお届けします。

「インフィオラータ」というイベントをご存じですか？これは、花を使ったアートイベントで、イタリアやスペインを中心に世界各国で行われているそうです。私が以前住んでいた東京でも行われていました。今回は「インフィオラータ」についてご紹介します。

■ インフィオラータ ...イタリア語で「花をまく」

本来は、市民が教会までの道のりに花や種子等で宗教画を描くものなのですが、アートとしての側面も注目されていて、日本各地でも市民アートイベントとして開催されています。インフィオラータの最大の魅力は、市民が協力をして作り上げること。チームで作る楽しさ、完成したときの達成感、完成した作品の美しさなど、



▲東京タワー(2019年)での作品(東京インフィオラータ2021ホームページより)

このイベントは、参加することで、より楽しむことが出来るようです。過去の作品を見ていると、花びらを敷き詰めて作られているものがほとんどですが、中には、花の苗を植えているものもあります。耕作放棄地となっている棚田をキャンバスにして、花で絵を描いてみるのも面白そうですね。

この記事は、東京インフィオラータ2021(一般社団法人花絵文化協会)のホームページを参考に作成しました。詳細は、こちらから▶



江里山 画廊

活動中に印象に残ったものを“江里山で出会った一枚”としてご紹介します。

【コメント】

江里山で出会った今月の一枚

▶ 樹齢700年以上のシイの木

佐賀の名木・古木に指定されているシイの木は、“観音さん”の敷地の片隅にありますが、木の前に立つと、その存在感に圧倒されます。樹齢300年以上の椋の木とともに、これからもずっと残していきたいですね。

